

2022年度「企画環境委員 全国一斉 ZOOM ミーティング」議事メモ

【日 時】 2022年8月5日（金） 13:30～17:00

【会 場】 WEB会議

【出席者】 *小俣副会長、*松本委員長

<敬称略>

北海道	*広川	北海道	鈴木	青森	田中	岩手	後藤
秋田	*伊藤	宮城	*佐々木	やまがた	高橋	福島	石井
新潟	橋本	長野	*片桐	群馬	田中	栃木	小坂橋
茨城	武井	埼玉	三上	千葉	*五木田	神奈川	上野
山梨	*大久保	東京	*西條	東京	吉富	静岡	山村
愛知	若松	岐阜	*井戸	三重	柴原	富山	*川尻
石川	林	福井	伴	滋賀	*是洞	滋賀	中村
京都	奥田	奈良	谷口	大阪	*中塔	兵庫	板倉
和歌山	田中	岡山	福田	鳥取	岩崎	鳥取	清水
島根	*阿部	広島	*村松	山口	杉本	徳島	佐藤
香川	*開出	愛媛	越智	高知	小松	福岡	後藤
大分	小屋野	佐賀	石井	長崎	*麓	宮崎	*田中
宮崎	内田	熊本	崎村	鹿児島	谷村	沖縄	与那嶺

*=広報委員会メンバー

【オブザーブ】 石川理事、大城理事

【事務局】 小見常務理事、大谷部長

【議事録】 事務局 【司会】 松本委員長

議 事

1. 小田島会長挨拶

- ・本日は、忙しい中参加いただき感謝するとともに、日頃より代協活動に尽力いただき併せて感謝申し上げます。
- ・何かあれば代理店へ相談いただくというお客様との関わりを大事にしているが、私たち自身の資質の向上、会社の価値の向上をアップデートしていくことが必要である。企画環境委員会の諮問事項は、会員の資質向上を柱として委員長を中心に活動している。
- ・既に取り組んで積極的に知識を高めている会員がいる一方で、まだこの情報を手に入れていない会員も多くいると思うので、本日の内容をしっかりと持ち帰り各都道府県代協・支部に浸透させ展開できるよう力を貸していただきたい。

2. 小俣副会長挨拶

- ・昨今の全国各地の大雨により被災された方へ心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。
- ・日頃より代協活動に尽力賜り感謝申し上げます。

- ・日本代協には5つの委員会があり、全ての委員会が重要なミッションを担って日夜活動しているが、企画環境委員会は、我々代理店の経営に直結する施策を多数企画・推進している。しかし、残念ながら昨年度実施した正会員実態調査においては、これらの施策が十分行き届いていないことが浮き彫りになった。これは日本代協の組織としての懸案事項であり、この課題を認識し克服していき、全ての会員に情報を伝えていくために今回のオリエンテーションを開催させていただいた。
- ・趣旨を理解頂き、腹落ちしていただいた上で、情報と熱を届けていただきたい。皆様がインフルエンサーとして大役を担って頂きたいと思っている。
- ・忙しい中、貴重な時間を多くの方と消費するので、積極的に参加いただき身になるオリエンテーションとしていただきたい。

3. 松本委員長挨拶

- ・本日は、忙しい中また、各地で災害が起こっている中参加いただき感謝申し上げます。是非、実りある時間にして行きたいと思っているので協力をお願いします。
- ・企画環境委員会は、業界環境が変わる中で役割が大きいと感じている。まずは、自分が変わることが重要だが、業界がもっと魅力的で、レベルが高いものにしていきたいという思いをもって委員会の活動に取り組んでいる。
- ・自動車事故はどんどん減っていき、サブスクやシェアリングに移行していき自動車保険中心に発展してきた業界モデルが無くなりつつあるし、ガバナンス体制の構築が求められる中で組織かも求められるであろう。また、ウクライナ情勢やコロナ、自然災害の増加により消費者のニーズも変わってきている。このような環境の中で保険代理店の役割の重要性が非常に強く求められてきており、これまで以上に高度なリスクコンサルティングの知識ノウハウが求められてくると思っている。
- ・このような社会や消費者からの期待に応えることが、この業界の社会的ステータスを上げていくことにも繋がっていくし、それが保険代理店の存続・発展に繋がっていくと思う。
- ・企画環境委員会では、これまで不公正募集や標準化等を中心的に活動してきたが、これからは業界の大きな環境変化を受けて、いかに代理店の価値を高めていくのか、他のチャネルの負けない専門性を持つのか等に取り組んでいきたいと思っている。

4. 日本代協 企画環境委員自己紹介

日本代協 企画環境委員が自己紹介を行った。

5. 2022年度 企画環境委員会諮問事項

事前配布資料「企画環境委員会の目的と活動」に基づき、松本委員長、西條副委員長、開出副委員長から、企画環境委員会諮問事項の説明を行った。

- ・代理店の価値向上策の推進
(リスクマネジメント講座、BCP 策定・事業継続力強化計画認定申請、社労士診断 認証制度 等)
- ・募集環境の実態のモニタリングと対応策の実施
(不適正募集、保険会社戦略、共通化・標準化含む)

6. 質疑応答

Q：社労士診断認証制度の認証取得がいかなる理由でお客様支援に役立つのか理解できかねる。また、何故社労士なのか（CFPでもIFAでもいいのではないか）

A：CFPやIFAの連携を否定しているわけではなく、社労士診断認証制度は社労士が人事労務リスクについて診断をするのだが、まずは、人を経営資源とする保険代理店が自社の労務管理を行っていくことが目的の一つである。同じようにお客様も人事労務リスクにさらされているので、情報提供産業として気付きを与えることが大事であり、社労士診断を行うことで保険だけでカバーできないリスクを社労士と連携してリスクをコントロールすることで支援していこうという趣旨になっている。人事労務リスクが高まっていく中で、中小企業に向き合ってもらうために社労士会と日本代協が包括提携したものである。

Q：お客様に社労士がいるのだが、この制度のことを理解していなかった。各県の社労士に通達がだされているのか。

A：間違いなく通達は出されているが、全ての社労士に伝わっていないのは確かである。そこで、日本代協との包括提携により、この制度を広め、我々はお客様に対して人事労務リスクを排除していこうと考えている。

Q：岡山県代協で好事例があると聞いたが教えて欲しい。

A：岡山県代協から社労士会に働きかけ連携の覚書を交わしたが、詳細は社労士会の会報に掲載されている。

Q：リスクマネジメント講座の受講者の把握方法を教えて欲しい。

A：申告いただきRMCAに個別に確認するしかない。

Q：それぞれの代理店価値向上策をどこまで、推進したら良いのか判断に迷っているが各種セミナーを会員に案内して、あとは各会員の経営判断に委ねて良いのか。

A：強制的なものではないが、これらを行うことが代理店の価値向上に繋がるものだと考えて出している施策なので積極的に取り組んでいただきたい。

Q：BCPは申告ベース・ジギョケイは認定ベースになっているが、ジギョケイの認定をもってBCPを作成したと判断しても良いのではないかと質問がたまにあるが、どうだろうか。

A：BCPについては明確な基準がある訳ではないが、性善説に基いて判断していただきたい。

Q：代理店価値向上策は代理店にとって良い施策だと思うが、手に負えない会員も多くいる（わかっているけど・・・）。この層の会員にもしっかり伝えて取り組んでいきたいと思っているので、本日は皆さんの意見を参考にしたい。

A：まさに、その通りで本日のミーティングで皆さん自身がこの施策に取り組む事の意義について腹落ちしないことには地域の会員に伝えていくことができないので、ご質問に対しては丁寧に回答したいと思っている。

7. グループディスカッション（70 分間）＜敬称略＞

テーマ「各代協における代理店価値向上策（3 取組）の取組み課題と取組み方法についての共有」

- Aグループ リーダー：伊藤（秋田）
メンバー：鈴木（北海道）、田中（青森）、後藤（岩手）、石井（福島）、佐々木（宮城）、高橋（やまがた）
- Bグループ リーダー：片桐（長野）
メンバー：橋本（新潟）、田中（群馬）、大久保（山梨）、上野（神奈川）
- Cグループ リーダー：西條（東京）
メンバー：武井（茨城）、三上（埼玉）、五木田（千葉）、小坂橋（栃木）
吉富（東京）
- Dグループ リーダー：井戸（岐阜）
メンバー：柴原（三重）、山村（静岡）、若松（愛知）、川尻（富山）
伴（福井）
- Eグループ リーダー：是洞（滋賀）
メンバー：谷口（奈良）、奥田（京都）、中村（滋賀）
- Fグループ リーダー：中塔（大阪）
メンバー：板倉（兵庫）、田中（和歌山）
- Gグループ リーダー：村松（広島）
メンバー：杉本（山口）、阿部（島根）、福田（岡山）、岩崎（鳥取）
清水（鳥取）
- Hグループ リーダー：開出（香川）
メンバー：佐藤（徳島）、越智（愛媛）、小松（高知）
- Iグループ リーダー：麓（長崎）
メンバー：石井（佐賀）、後藤（福岡）、小屋野（大分）
- Jグループ リーダー：田中（宮崎）
メンバー：崎村（熊本）、内田（宮崎）、谷口（鹿児島）、与那嶺（沖縄）

8. グループディスカッション発表（各 4 分）

各グループから、ディスカッションの発表があった（別添 ディスカッションシート）

9. まとめ（松本委員長）

- ・今後、皆様のご意見を参考にさせて頂きながら進めていきたいと思う。
- ・大きな環境変化が起きている中で、守りから攻めに転じる必要があると思っており、そのためには新しいことにチャレンジしていかなければならない。認知度が低い、伝え方が難しい等の問題はあるが、しっかりと取組んでいくことが大事だと思っている。
- ・目標はあるが、作業的に行うのではなく魂を入れて取り組むために目的や意義をしっかりと地域で落とし込んでいただきたい。

10. 小俣副会長所感

- ・グループディスカッションの発表でも触れられていたが、他委員会とのコラボ（連携）については、その通りである。代協の事業はすべての委員会とコラボしており、今回は企画環境委員会のミーティングではあったが、教育委員長、CSR委員長も参加いただいているのである。
- ・また、様々な施策は代協の為のものではなく代理店の経営策・支援策の一環として案内しているものであり、全てを取り組んでいただきたいというのではなく自社の経営に合うものを優先的に取り組んでいただきたいと思う。三冠王は日本代協のそれら施策を支える支援策であり、これが目的ではないことを理解頂きたい。
- ・我々業種に限ったことではないが、優秀な若手の人材を採用していくために四苦八苦していると思う。そのためには、職場環境を整えることが最低限必要なことであり、取っ掛かりとして職場環境改善宣言（社労士診断認証制度）なのだと理解頂きたい。
- ・これまでは、隣の代理店との競争に目が言っていたが、これからは、様々な業種・企業と戦っていかなければいけないというフィールドになってきている。我々も一企業としてしっかりとした組織体でなければ対抗できない、そのための支援策であるという事も理解していただきたい。
- ・本日は、長時間にわたりお疲れ様でした。

以 上

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート（Aグループ）

1. 自己紹介
2. 役割分担（敬称略）

リーダー（日本代協派遣委員）	書記	発表者
伊藤公毅（秋田）	田中春樹（青森）	佐々木一元（宮城）

3. ディスカッション（各テーマごとに約20分を目安にして下さい。）
各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4）項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・アカデミーの登録会員が少ない・会員が認識していない
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・代協チャンネルを視聴する・セミナー受講案内

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・保険会社によってはランク維持や検査対策のために取組んでいる・ジギョケイの取組みが少ない・取組んでいない会員が多い
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・会員向けアンケートで現状把握する・日本代協チャンネルの視聴案内・セミナー開催

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	・代理店に認知されていない
取組方法	・支店を持っている社労士会社と連携予定 ・無料で会員盾がもらえる

4) その他

質問事項	
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Bグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
長野代協 片桐	新潟代協 橋本	山梨代協 大久保

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)
各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	そもそもアカデミーに登録しないと受講申し込みとにならない。 無料のコンテンツと比較し有料、時間もかかる 保険会社のキャリアカレッジとの差別化が難しい
取組方法	代協アカデミー登録増のため教育委員会や他の委員会と連携してセミナーなど 代理店からより保険会社から言われると響くかも。 全会員に無料の初級編まで案内していく

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	・電子申請システム「GビズIDアカウント」を申請しないと。印鑑証明も必要でひと手間増えた。 ・周知不足
取組方法	・神奈川代協さんの成功事例 (セミナーを開催しセミナーの中で認定まで案内した。セミナー参加者には申請を促し認定店には臂臑汚職をプレゼント) ・BCP作成済みの代理店があるかどうか? 全会員にメールかFAXを送り確認、把握する。 ・日本代協策定支援ツールを周知し利用を促す

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・BCP やジギョケイに比べると認知不足。・周知できていない
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・理事会・委員会→支部会→支部幹事で推進していく。・会合時などPC持参しその場で手順を示し登録を促す。・宣言認定の盾が貰えるアピール

4) その他

質問事項	
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Cグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
西條 (東京)		

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)
各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・認知度が低い・アカデミー登録が必要であり登録数が少ない・委員自身がよく理解できていない・申し込み方法がよく分からない
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・ツール活用 (本日資料) し具体的手順を説明・会員へメール一斉送信も検討・各代協企画環境委員に率先しての取組みをお願いする

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・数字の把握が大変 (特にBCP)・理解してもらっても取組みまで至っていない
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・まず自社、企画環境委員が率先して取得し支部会員や顧客に推奨していく・8月30日オンラインセミナー受講勧奨・三井住友あいおい生命が取組みに前向き、コラボ (地域差あり)

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・認証ハードルは低いものの浸透していない・企画環境委員自身が理解不足・対象会員に限られる（従業員雇用している）
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・社労士と協力・各代協作成の資料を共有（東京代協でオリジナル資料作成中）・認定証アピール（改善宣言で認定証がもらえる）

4) その他

質問事項	<ul style="list-style-type: none">・代理店施策について取り上げて欲しい点 ⇒あいおい社、改定で損保→生保に変わった商品があるが口振手数料が代理店負担のまま
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Dグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
井戸 貴之 (岐阜)	井戸 貴之 (岐阜)	井戸 貴之 (岐阜)

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)

各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・全体的にアカデミーに登録していない代理店が多い。・リスクマネジメントを周知する必要がある。・何のために受ける必要があるかを委員会メンバーもわかっていない。
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・教育と連携する必要もある。まずはアカデミー登録者のカウント数を上げる必要あり。そこかからリスクマネジメントの宣伝もする。

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・他の代理店のを参考に作成したが参考にならない場合がある。・自分達の意識から変えないといけない。・コロナで中断してしまっている。・保険会社によって力の入れようのばらつきがある。
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・8/24に三重県は三井住友あいおい生命とコラボでセミナーを開催する。・商工会メンバーと保険会社がコラボして策定するのもよい。・福井県も東京海上日動と三井住友あいおい生命がタイアップしてやっている。・BCP策定している代理店の中に、災害救助方法を教えられる方もいるの

	で、そういう方に伝授してもらおうセミナーもいい。
--	--------------------------

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言した後はどうなるか、まだ続いて次のステップに移行しないとイケないのかが疑問。 ・後回しになっている。代理店の質向上に合うのかどうか？ ・どうしてそれをやる必要があるのかわかっていない。
取組方法	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の席にて理事全員にお願いする。

4) その他

質問事項	ジギョケイを一人代理店の方のも推奨しないとイケないのか。
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Eグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
是洞 (滋賀)	奥田 (京都)	谷口 (奈良)

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)
各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・必要性と危機感を感じる必要がある・代理店や募集人の格差あり・会員は認識していない
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・まずは体験して中味を知る・手分けして声掛けをしていく・県内代協で告知

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・保険会社によってはランク維持のために取組んでいるケースあり・BCPとジギョケイともに代理店への認知は広がりつつある
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・自然災害や事故対応をしなければならない代理店にとっては必須であることを案内する・まずは、理事が取り組む・重要性和必要性を理事が全員に告知していく

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・社労士と代理店ともに認知が全く広がっていない・
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・社労士会と打合せをして推進する・理事で取組みをする

4) その他

質問事項	
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Fグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
中塔 泰成 (大阪代協)	板倉 實 (兵庫県代協)	田中 孝成 (「和歌山県代協」)

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)

各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・興味があるがコロナ禍で会員同士の対面ができていない中で推進は難しい・中級編からはアカデミーの登録がないと受講できない・少額だが費用がかかるためメリット、デメリットの説明が必要
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・まず企画環境委員長が申込み受講した上で腹落ちして都道府県代協の役員→会員に推進していく・教育委員会と連携してリスクマネジメント講座とアカデミーの登録数を増やしていく施策を考えて推進する。

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・BCP策定は三冠王の自主取組項目に入っているがカウント方法が曖昧であるためジギョケイ認定のみの取組みにしたかどうか・本来ジギョケイに比べBCP策定の方が難しく有事の際には役立つと思うのでBCP策定を優先させることが必要。優先順位を間違えてはならない・ある一定以上のランクの代理店のみ手数料Pが与えられる不公平感あり
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・企画環境委員長は、日本代協HPの会員書庫「代理店経営サポートデスク支援ツール」を一通り確認することから始めることが必要・生命保険会社(あいおい生命)と連携してBCPを策定の上、まず自店でジギョケイの認定を受けよく理解するした上で会員に広めていく事が必要

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言企業のハードルは低いが企画環境委員長の理解も低い。 ・何のために取組むのか腹落ちすることが肝要 ・実施企業、適合企業には10万円単位に費用が掛かる ・社労士の選定が難しい ・顧客に勧める場合、都道府県代協提携の社労士と顧客の社労士とのバッティング等難しい部分もある
取組方法	<ul style="list-style-type: none"> ・まず企画環境委員長や都道府県代協役員が宣言企業を認証することから始める（10分で認証可能） ・企画環境委員長が、取組む理由を腹落ちしないと推進できないのでYouTube動画やオンデマンドセミナーなど必要性の認識のため視聴する

4) その他

質問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・経営策として1)～3)を提供しているのであれば、もっと多くの経営策コンテンツを提供してその中から各都道府県代協企画環境委員会が任意に選択して取組んでいく方が前向きに取組むことができると思うがそのような考えはないのか？
依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ・共通化・標準化に向けて全国からどんな提言が出ているのか開示がなく損保協会に送られた提言に対しどのような結果となったのか報告もなく非常に不満です。不公正募集や特定修理業者の案件についても同じ。 ・10月の火災保険の改定により特定修理業者で修理した場合、復旧義務が課せられるように聞いているが、特定修理業者名の情報共有をお願いしたい

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Gグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
村松輝昭 広島県代協	杉本多市 山口県代協	福田憲児 岡山県代協

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)

各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	リスクマネジメントを自分たちがまだ理解してない。 各会員に対してどこまでサポートしていけばよいのか？ お金かかるし、リスクマネジメントが役に立つのかわかりかねる。 現在は三冠王に入っていないので後回しになると思うが今後の目玉になってくるともとれる。
取組方法	まずはリスクマネジメント講座をやってみる。初級無料、中級以降は有料。であれば、まず初級を受けてみよう。 代理店の専門性を高めるためのツールの一つとして教育、組織と協力してやっていく。代協の一つの目玉として、安く受講できるし、リスクマネジメントを受けたいがために会員になる代理店が出てくることに期待。

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	ジギョケイがなんなんだ。代理店に必要なのかと会員に言われることがある。BCPに関しても規模が小さいと言って作成すらしてない代理店も多い。ジギョケイ、BCPともに保険を販売する者として必要であると理解させなければならない。
取組方法	山口県代協は8月26日あいおい生命主催のジギョケイセミナーをすることになってる。広島県代協もあいおい生命にお願いして、会員全員まとめてではなく1会員ごとに動いてもらってる。また、広島県代協版のBCPを作成し会員のみ渡せるものを作成中。(特定感染症に特化したもの) 粕谷さん作成のBCP用紙も使用し会員へ広めていく。

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	この制度が会社にとって必要か?と聞いてくる代理店がいる。 ジギョケイ、BCP、リスクマネジメントと比べると社労士認定は?と考えさせられるところはある。 社労士認定制度で宣言する事により世間からどのように周知されるのかを理解していただかなければならない。
取組方法	広島県代協は宣言企業に登録するためのツールを作成し理事全員へメールしています。まだ数字が伴ってないが役員会で無理やり登録させる予定。 岡山県代協は社労士会と半年ごとに交流し代理店向けに法改正などのセミナーを開催していただいている。今後宣言以降の認定に向け社労士と連携させ認定企業を増やしていく予定。

4) その他

質問事項	9月29日の企画環境委員会はリアル開催でしょうか?
依頼事項	リスクマネジメント、ジギョケイ、BCP、社労士認定制度、必要と理解されてる会員さんは勝手にやってくれるが、理解されてない、なんでやらなければならないと思ってる会員さんへ、企画環境委員がどこまで手をかけなければならないのか?と疑問に思われてる方もいらっしゃいました。 この温度差をどうすべきか、今後皆さんで話し合いたいです。

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Hグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
開出 (香川)		

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)
各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・個人契約が多い・必要性はあるが、今すぐ必要としない・アカデミー登録会員が少ない・社内で法人担当、個人担当と分けできていない
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・本日の資料 (一枚チラシ) 活用8理事会で共有)

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・小規模代理店で必要か? 足元の仕事が優先
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・あいおい生命を活用して取組み・損保ジャパンは、代理店ポイントに影響・他業界では、融資等のメリット有をアピール

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none">・顧問社労士の認識不足・報酬金額の格差・県代協との協定
取組方法	<ul style="list-style-type: none">・新卒社員の募集に有利な点（代協会員アピール）・認定証（盾）簡単に入手・認定が短時間で可能

4) その他

質問事項	<ul style="list-style-type: none">・
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Iグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
麓 (長崎)	小屋野 (大分)	石井 (佐賀)

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)
各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	一般会員にはハードルが高い 優先順位を考え「BCP」に絞ってはどうか 会員が腹落ちしないとやらない 情宣していく方法がわからない
取組方法	具体策がない

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	福岡 BCP 10%ほど 100店を目指す 簡素化したシートが欲しい 大分 海沿いなのでお客様にもリスクがあるのでニーズが高いかも BCPの申告カウントの方法があいまい (口頭でいいのか)
取組方法	福岡 セミナー開催 一緒に作成してくれるコンサル的な人がいると良い

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	社労士が絡むところが、否定的な方が多い 代協として従業員の「働き方改革」推進した方がいいのでは 収益事業として成り立てば賛成
取組方法	社労士によるセミナー開催

4) その他

質問事項	不公正募集 情報が集まらない レスポンスもなく改善しないのが理由 直接 財務局等に持ち込んだ方がいいのでは ディーラー案件は、お客様にはデメリットがない場合が多いので情報として 出てこない
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。

2022年8月5日

2022年度 企画環境委員会 全国オリエンテーション

ディスカッションシート (Jグループ)

1. 自己紹介
2. 役割分担 (敬称略)

リーダー (日本代協派遣委員)	書記	発表者
田中栄治 (宮崎)	内田泉 (宮崎)	崎村和雄 (熊本)

3. ディスカッション (各テーマごとに約20分を目安にして下さい。)

各取組について、各代協における取組課題と取組方法について共有し、ご記入下さい。
また、日本代協への質問事項や依頼事項については4)項目にまとめて記載して下さい。

1) リスクマネジメント講座

課題・問題点	(3項目全体を通して) 担当自身が、事業の背景と本質について「腹落ち」できていない。まずは、九州南独自にそれぞれの事業に背景と本質 (なぜ?今?この取組なのか?) 事業ごとにシンプルにまとめ、メンバーに発信する (PPの作成など5分程度)。こちらの作成に注力し、各県担当自ら学び結論を出す。
取組方法	(3項目全体を通して) 現在のユーチューブや、オンデマンドセミナーを通じて、きっかけ作りを行う事となった。数字ありきの活動はしない!

2) BCP策定・ジギョケイ認定

課題・問題点	
取組方法	

3) 社労士診断認証制度

課題・問題点	
取組方法	

4) その他

質問事項	
依頼事項	

ご協力頂きまして、ありがとうございました。

皆様の意見を参考にしながら、委員会活動を推進して行きたいと考えております。

引き続き、宜しくお願い致します。